



5/29 亀山市水防訓練

鈴鹿川河川敷で、消防団員や消防職員など約350人が参加し、水防訓練を実施しました。この日は、気温30度を超える暑い1日でしたが、参加者が協力し合って、土のう作りや堤防から水があふれるのを防ぐ「改良積み土のう工法」の訓練に汗を流していました。



6/4 初夏を彩るササユリ

3年ぶりに一般公開されたササユリの里では、きれいに咲く自生のササユリを見ることができました。

ササユリの里は、地元の有志で構成される「楠平尾ササユリ保存会」の皆さんが、草刈りや獣害対策など日頃の管理を行い、里山を守っています。この日も、きれいなササユリを一目見ようと、カメラマンなど多くの方が訪れていました。

6/5 第23回花しょうぶまつり

色とりどりの花しょうぶが見頃を迎えた亀山公園菖蒲園では、花しょうぶまつりが3年ぶりに開催されました。

園内では、写真コンテストや写生大会などの催しが行われ、色鮮やかに咲き誇る花しょうぶをカメラに収める人や、思い思いの場所で元気に絵を描く子どもの姿が見られました。

ほかにも、会場では、花しょうぶの販売や栽培指導、子ども向けゲームコーナーなども設けられ、家族連れなど、訪れた人は楽しいひとときを過ごしていました。



地域と学校が一体となって受け継ぐ  
伝統芸能「田村かんこ踊り」

6月4日(土)、川崎小学校の運動会で、小学3・4年生(147人)が、伝統芸能「田村かんこ踊り」を披露しました。

「田村かんこ踊り」は、秋の豊作を祝って、10月10日前後の秋祭りで行われていましたが、後継者の不足などにより、約10年前からその活動が途絶えていました。

しかし、子どもたちに地域の伝統芸能を知ってもらい、体験することを通じて、地域への愛着をもってもらうとともに、かんこ踊りの復活にもつなげようと、数年前から、地域の人たちが集まり、小学校で出前指導を行っています。

そして、コロナ禍の中断を経て、今年5月初旬から、新たに集まった地域の有志の皆さんの指導による練習が行われました。

運動会本番では、保護者の皆さんが手作りした花笠をかぶり、太鼓を手に持って、児童たちは一生懸命かんこ踊りを披露していました。

